



2020年度 事業報告書

2020(令和2)年4月1日～2021(令和3)年3月31日



学校法人 聖マリアンナ医科大学

学校法人 聖マリアンナ医科大学の沿革(概要)

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
1971年1月27日	学校法人東洋医科大学設置認可
1971年4月1日	東洋医科大学開学(入学定員80名)
1972年7月1日	中央電子顕微鏡研究施設設置
1973年4月1日	聖マリアンナ医科大学に改称(入学定員を100名に増員)
1973年6月11日	中央実験動物飼育管理研究施設設置
1974年2月12日	大学病院(本館)開院
1976年1月1日	共通放射能基礎医学研究施設設置
1977年3月30日	大学院医学研究科設置認可
1977年4月1日	大学院医学研究科開学(入学定員60名)
1979年3月24日	看護専門学校設置認可
1979年4月1日	看護専門学校第1、2看護学科開校(入学定員40名)
1980年7月1日	大学病院(別館)開院
同	救命救急センター開設(大学病院)
1980年10月14日	視聴覚教育センター設置
1983年7月9日	メディカル・フォトセンター設置
1986年4月1日	看護専門学校第1看護学科(入学定員を80名に増員)
1987年5月25日	横浜市西部病院開院
1988年3月31日	看護専門学校第2看護学科課程廃止
1988年7月6日	MR棟開設
1988年12月26日	大学院附属研究施設設置
1990年10月4日	附属研究所(難病治療研究センター)開設
1993年11月26日	大学病院特定機能病院承認
1994年5月16日	夜間急患センター開設(大学病院)
1995年9月1日	看護専門学校の看護専門課程より医療専門課程に名称変更
1996年10月5日	特別教育施設「聖堂」献堂
1997年4月1日	医学総合情報センター(図書館、視聴覚センター、メディカル・フォトセンター)の3施設を統合開設
1997年11月1日	大学病院臓器別外来診療体制へ移行
1999年4月1日	6講座の統廃合(大講座制に改組)
2001年4月1日	医学教育改革により、教育改革推進室を新設。学務部と医学総合情報センターの一部を整理統合し、教学部に改組
2001年8月1日	医学総合情報センターを医学情報センターに名称変更
2003年4月1日	講座及び学科目の再編成、大学組織改革及び事務組織の再編成
同	臨床研修センター設置(大学病院)
2003年6月25日	昭和薬科大学と教育・研究の交流に関する協定を締結
2004年11月1日	知財事業推進センター開設
2005年4月1日	大学院医学研究科の4専攻を医科学系専攻に統合し名称変更
同	大学基準協会認証評価認定
2006年2月1日	川崎市から指定管理者として指定を受け川崎市立多摩病院開院
2007年1月22日	日本医療機能評価機構認定
2008年2月6日	機械棟(エネルギーセンター)開棟
2008年4月1日	教育棟開棟
2008年6月16日	東横病院新規開院
2008年11月1日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター開設
2009年2月1日	キリスト教文化センター開設
2009年3月2日	附属研究所プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック開院
2009年4月1日	医学部の入学定員を110名に増員し収容定員を660名に改変
2010年4月1日	医学部の入学定員を115名に増員し収容定員を690名に改変

年 月 日	学 校 法 人 の 沿 革 (概 要)
2011年4月1日	総合教育センター開設
2011年12月16日	高神大学医学部（韓国 釜山）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2012年4月2日	マリアンナさくら保育園開園
2013年7月3日	明治大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2013年11月13日	学校法人東京純心女子学園との相互連携に関する合意文書を締結
2014年4月22日	上智大学と大学間交流に関する包括協定を締結
2015年1月26日	江原国立大学医学部（大韓民国）との大学間交流に関する協定を締結
2015年4月1日	男女共同参画キャリア支援センター開設
2015年4月1日	臨床研究データセンター開設
2015年11月9日	同済大学医学院（中国 上海市）と医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2016年4月1日	情報部門及びIT戦略推進室設置
2016年7月1日	田園調布学園大学及び川崎市宮前区との連携・協力に関する協定を締結
2016年10月6日	ハワイ大学医学部（アメリカ ハワイ州）との医学教育交流プログラムに関する協定を締結
2017年4月1日	感染症センター開設
2018年3月23日	中央大学との大学間交流に関する包括協定を締結
2018年4月1日	国際交流センター開設
2018年4月1日	メディカルシミュレーションセンター開設
2019年3月11日	国立成功大学（台湾）と大学間交流に関する包括協定等の締結
2019年4月1日	ソウル大学校附属盆唐病院と聖マリアンナ医科大学病院との国際交流協定を締結
2019年6月12日	ハノイ医科大学（ベトナム）との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019年8月1日	デジタルヘルス共創センター開設
2019年8月1日	大学医師会設立
2019年10月31日	コンケン大学医学部（タイ）との学生交流プログラムに関する協定を締結
2019年8月1日	看護師特定行為研修センター開設
2020年4月1日	リハビリテーション医学講座、緩和医療学講座開設
2020年6月4日	朝鮮大学医学部（韓国）との学術交流協定を締結
2020年7月30日	NITTE大学（インド）との学術交流協定を締結
2020年8月1日	教学IRセンター開設
2020年12月9日	ピッツバーグ大学との学術交流協定を締結

建学の精神

キリスト教的人類愛に根ざした「生命の尊厳」を基調とする
 医師としての使命感を自覚し、人類社会に奉仕し得る人間の育成、
 ならびに専門的研究の成果を人類の福祉に活かしていく医師の養成

2020 年 度 年 譜

4月 1日 (水)	入職式・入職者オリエンテーション	1月 4日 (月)	仕事始め・賀詞交歓会
4日 (土)	医学部入学式	6日 (水)	看護専門学校一般入学試験
9日 (木)	看護専門学校入学式	8日 (金)	大学院第2次入学試験
13日 (月)	大学院入学式	9日 (土)	看護専門学校一般入学試験合格発表
5月 25日 (月)	理事会・評議員会(決算)	25日 (月)	医学部第1次一般選抜(前期)
6月 19日 (金)	看護専門学校祭	30日 (土)	医学部第1次一般選抜(前期)合格発表
20日 (土)	看護専門学校祭	2月 3日 (水)	第115回医師国家試験合格祈願祭
27日 (土)	聖医祭	4日 (木)	大学院第2次入学試験合格発表
28日 (日)	聖医祭	6日 (土)	医学部第2次一般選抜(前期)
8月 1日 (土)	東医体(8月15日までの予定)	〃	第115回医師国家試験
10月 1日 (木)	創立者故・ステファノ明石嘉聞博士と 亡くなられたすべての教職員学内ミサ	7日 (日)	医学部第2次一般選抜(前期)
2日 (金)	解剖ご遺体慰霊法要並びに学内追悼メ 実験動物感謝祭	〃	第115回医師国家試験
10日 (土)	開学記念日	10日 (木)	第110回看護師国家試験合格祈願祭
23日 (金)	看護専門学校戴帽式	12日 (金)	医学部第2次一般選抜(前期)合格発表
31日 (土)	看護専門学校推薦入学試験	〃	大学院追加入学試験
11月 4日 (水)	看護専門学校推薦入学試験合格発表	14日 (日)	第110回看護師国家試験
6日 (日)	大学院第1次入学試験	3月 2日 (火)	医学部第1次一般選抜(後期)
15日 (日)	医学部学校推薦型選抜	4日 (木)	看護専門学校卒業証書授与式
19日 (木)	医学部学校推薦型選抜合格発表	〃	大学院追加入学試験合格発表
12月 3日 (木)	大学院第1次入学試験合格発表	5日 (金)	医学部卒業証書・学位記授与式
		8日 (月)	定年退職者感謝会
		〃	医学部第1次一般選抜(後期)合格発表
		12日 (金)	医学部第2次一般選抜(後期)
		16日 (火)	第115回医師国家試験合格発表
		19日 (金)	医学部第2次一般選抜(後期)合格発表
		24日 (水)	大学院学位記授与式
		26日 (金)	第110回看護師国家試験合格発表
		29日 (月)	理事会・評議員会(補正・当初予算)

目 次

I. 法人の概要

1. 法人の概況	1
2. 設置する学校・学部・学科	5
3. 収益事業	5
4. 役員(理事・監事)および評議員関係	5
5. 大学の主な役職者	6
6. 教職員数	7
7. 法人組織図	8

II. 事業の概要

1. 教育・研究・診療活動の状況	9
1—1 大学病院	11
1—2 東横病院	11
1—3 西部病院	12
1—4 多摩病院	12
1—5 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック	12
2. 入学試験状況	13
3. 学生在籍者数	15
4. 国家試験合格状況	15
5. 博士(医学)の学位授与状況	16
6. 補助金交付状況	17
7. 主な施設・設備の更新等	18

III. 財務の概要

1. 財務の概況	19
2. 学校法人会計	20
3. 収益事業会計(多摩病院)	28
4. 附属病院等の状況	29

学校法人聖マリアンナ医科大学の2020年度事業の概要をご報告申し上げます。

I. 法人の概要

1. 法人の概況

(1) 法人組織の改革

2020年度は、役員の任期満了に伴う改選による新体制のもと、法人の中期計画（2020～2024年度）に策定された2020年度事業計画に則り運営して参りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は想像を超えて大きく、様々な計画の変更を余儀なくされた激動の年となりました。

2021年度は創立50周年という大きな節目にあたります。これを記念する事業の一環として進めてきた菅生キャンパスリニューアル事業のうち、2022年10月には大学病院新入院棟の竣工を予定しており、診療体制における更なる拡充により地域医療への貢献と、教育・研究の質の向上に一層努めて参ります。

現在も新型コロナウイルスによる感染症拡大の終息の目途が立たないなか、医師の働き方改革や財務基盤の強化など抜本的な改革を要する課題も数多くありますが、ICTの更なる活用や業務効率の改善などを通じ、引き続き、法人の発展に取り組んで参ります。

(2) 医学部、大学院および看護教育

1) 医学部

2016年度入学者より、グローバルスタンダードに基づく新カリキュラムを導入し、学年進行により適用し、第5学年まで施行しております。

2020年1月から新カリキュラムに基づく臨床実習(第1クール)が開始となりましたが、旧カリキュラム臨床実習と並行しての運用や、流行が始まった新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながらの出だしとなり、緊急事態宣言の発令を受け、4月～5月の期間は臨床実習を中断することとなりました。期間中は予備校提供による国試対策を受講させるなどの対応を行い、6月8日より1ターム辺りの期間を4週から3週まで短縮したうえで、臨床実習(第1クール)を完了いたしました。

また、座学による講義も新型コロナウイルス対策のため、一部の実習・講義および定期試験を除きZOOM、WebClassを用いたオンライン講義を実施いたしました。学生の通信環境や端末に関する問題もありましたが、都度意見を聴取し、柔軟に対応して参りました。

後期(9月)以降、第1学年は医学部本館6階にて、第2・3学年の成績下位者は学年教室において一部対面講義を再開しました。

第4学年共用試験OSCE、CBT、第6学年Post-CC OSCEにおいては外部評価者や模擬患者を招くことから、特例実施措置に基づき、会場の換気を始め、評価者の人数制限、課題数の削減や一部の手技課題の省略を行いました。特に問題なく円滑に完了することができました。シミュレーターは台数が少なく、実習および講義で活用していく上で、今後の課題となります。

また、今年度は第4・5学年プログレステストを実施しました。これは第5学年総合試験Ⅲを第4・

5 学年に受験させることで、現段階における学習到達度を意識させる目的で実施し、次年度以降も継続する予定となっています。

入学者選抜においては、新型コロナウイルス感染症の対応の一環として、一般選抜（後期）を新たに導入し、一般選抜（前期）を感染症等の理由により欠席した受験生に対して、振替受験を認める措置をしました。また、入学者選抜当日は、サーモグラフィーでの検温やアルコール消毒の設置、通勤ラッシュを避けるため、例年より試験時間を 1 時間遅らせるなどの感染対策を行い、大きな問題もなく無事に終えることができました。

2) 大学院

国際交流の拡充に向け、海外より留学生（中国籍）1 名が在籍しています。また、大学院学位記授与式では優秀論文者 3 名および優秀指導者 2 名を表彰し、そのうち、「優れた業績を挙げた者」に該当する 3 年次での早期修了者を 1 名輩出しています。

3) 看護専門学校

看護専門学校では、保健師助産師看護師法指定規則に則り、100 単位 3,030 時間の授業時間に加え、戴帽式・創立者追悼ミサ・クリスマスの集い・防災訓練等の特別教育活動や、学生会行事・医療安全教育、国家試験対策等を実施し、総学習時間は 3,600 時間余りの教育活動を行なっています。

今年度はコロナ禍ということで、前期 3 週間の臨時休講を経てオンライン授業を開始しました。

3 年生は 5 月から学内で代替実習を行い、6 月下旬から大学病院での臨地実習が開始しました。後期からは密集・密接をさけるため、オンラインも一部活用し分散学習を行いながら、全学生が登校し対面授業を開始しました。夏季休暇を圧縮して臨時休講中の補習を行い、本年度に予定した講義・臨地実習・特別教育活動のすべて履修し終えることができました。

学生の基礎学力強化のため、オンライン下でも国家試験や学習支援を双方向で実施しました。国家試験対策に関しては昨年見直しを実施し、それに基づき 1 年次から積極的に進めることで、再試験数や複数学年履修生が着実に減少しました。また、ICT の推進に関してはコロナ禍に対応できるポータルサイトの見直しやホームページの充実に向けた対策を実施しました。特にホームページはコロナ禍では重要な情報ツールとなるためブログの充実や保護者へのメッセージ欄の新設を行いました。また、通常のオープンキャンパスは感染予防の観点から実施できず、代わってオンラインで学校案内を配信し入学生募集に活用しました。学生が成績や出欠席の自己管理を行い主体的に学習や生活の管理ができるように Web での成績・出欠席管理システムを導入しました。

学校評価に関しては「ホームページへの掲載」はもちろん「学校関係者評価」は 3 回目の開催をすることができました。コロナ禍でも滞りなく教育活動が進められるよう、ナースサポートセンター・法人 4 病院、医学部と今まで以上に、連携を強化しました。

次年度に向けて高等教育修学支援新制度の申請を行い承認されました。また、第 5 次カリキュラム改正に向け、「選ばれる看護学校」としてその特徴が明確に示せるよう準備を重ねています。

(3) 附属病院等の概況

1) 大学病院

2020年4月より、反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)を用いた脳・脊髄症状に対する治療を体系的に実施するため、医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・看護師等チーム一丸となってリハビリテーション科を設置しました。

2020年11月より、パーキンソン病に対する先進的かつ効果的な診断及び診療を包括的に行うため、診療科横断的かつ多職種連携によるチーム医療体制の強化を図るとともに、新たな治療法の開発研究を積極的に推進し、提供する医療の質の向上及び医学の発展に資することを目的にパーキンソン病治療センターを開設しました。

2021年3月より、会計窓口の混雑緩和及び3密回避のため、医療費後払いシステムを導入しました。

2021年3月より、低侵襲で合併症リスクの少ない人工関節手術を実現するため、米国ジンマー・バイオメット社の整形外科用手術支援ロボット「ROSA Knee システム」を導入しました。

新型コロナウイルスの感染症拡大により、2020年度は重症82名、中等症103名、軽症71名の計256名の患者を受入れました。

2) 東横病院

現在、「消化器病センター」「心臓病センター」「脳神経・脳卒中センター」「失神センター」「生活習慣病センター」「婦人科」「健康診断センター」を備えており、急性期医療から婦人科疾患、日常の健康管理、予防まで幅広いニーズに応え続ける病院となっております。

また、2020年9月には、ダ・ヴィンチと同じ手術支援ロボットのひとつである、「センハンス・デジタルラパロスコーピー・システム」を設置し、消化器、婦人科領域の手術を実施しております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、下記項目の契約及び、指定医療機関となっております。

- ・新型コロナウイルス核酸検出の保険適用に伴う行政検査に係る事務委託契約
- ・神奈川モデル重点医療機関協力病院(3、4)
- ・発熱診療等医療機関指定
- ・新型コロナウイルスワクチン接種連携型接種施設 B

3) 西部病院

前年度にハード面で課題となっていた患者支援センターの設置に年度当初から着手し、改修工事を経て2020年4月から本格始動し、地域連携の強化や入退院支援を目的とした体制を構築しました。

また、今年度は病院長が交代し新たな体制で年度が始まり、2019年度に導入した電子カルテを含む新医療情報システムの運用も定着し、安全・安心な医療を提供しつつ、効率的な病院運営が期待されました。しかしながら、年頭より拡大していた新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなり、年間を通じて院内体制の再構築に時間を費やす1年となりました。

2020年4月20日の院内感染発生より、入院患者の附属病院間や近隣医療機関への転送、感染

症拡大阻止のため、院内環境整備に必要となった入院・外来診療制限の措置をとり、全面診療再開まで3カ月近い期間を要しました。

診療再開後は新型コロナウイルス感染症拡大前の経営状態を取り戻すため様々な取り組みを進めていましたが、2度の緊急事態宣言発出、行政からの要請に基づくコロナ対応病床の確保と診療制限などを余儀なくされ、当院の経営状況は多大な影響を受けることとなりました。

地域連携の強化や病院からのメッセージを院内外に発信するために、当初より計画していたホームページのリニューアルを実施しました。

引き続き、横浜市の地域中核病院として役割を果たすべく、行政からの要請にも応えて当年度設置した帰国者・接触者外来や発熱外来は、新型コロナウイルス感染症が収束するまで継続する予定です。

4) 多摩病院

2020年度は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い5階東病棟にミンティ（空気感染隔離ユニット）を設置し、専用病床を確保しました。「総合診療センター」は、総合医を育てる医育機関として、また聖マリアンナ医科大学の教育、研修施設としてその役割を果たすことを目的に、内科診療と救急診療の2つを柱とし、両者が連携を取り診療、教育に当たり、初期研修医および内科医、総合診療医を目指す後期研修医の教育を行なっています。また、当院では、院内でサーベイヤーを配置し、PDCAサイクルを回し院内機能の向上、質の向上を目的に院内機能評価を行なっています。

5) プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

2020年11月、公費ならびに自費検診用に3Dマンモグラフィー（トモシンセシス）装置を4階に1台設置しました。これにより、乳がんをはじめとする保険診療の患者と検診受診者の動線を分離することができました。さらに、川崎市に加え町田市乳がん検診を受託して、検診から診療までの乳がん医療の充実を図りました。

(4) 被災地支援活動

東日本大震災では、被災県や全国医学部長病院長会議被災地医療支援委員会からの要請に基づき、災害派遣医療チーム（DMAT）や医療救護班の派遣を行い、被災地の医療体制確保に係る支援を行いました。その後、関東・東北豪雨、熊本地震等においても積極的な派遣を行っており、2020年に発生した新型コロナウイルス感染症拡大事案に対してはDMAT派遣や県・市に設置された医療調整本部への人員派遣を行っています。

今後もこうした活動の経験を活かし、有事の際には迅速かつ効果的な医療支援を行なって参ります。

2. 設置する学校・学部・学科

聖マリアンナ医科大学 医学部 医学科
開学年月日 1971年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 大学院 医学研究科
開学年月日 1977年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

聖マリアンナ医科大学 看護専門学校 看護学科 医療専門課程
開校年月日 1979年4月1日
所在地 川崎市宮前区菅生 2-16-1

3. 収益事業（2013年3月29日付寄附行為変更認可によるもの）

川崎市立多摩病院の管理運営
指定管理者指定日 2015年6月24日
所在地 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

4. 役員(理事・監事)および評議員関係

(1) 役員(理事・監事)構成

理事・監事	氏名	任期
理事長	明石勝也	2020年4月1日～2023年3月31日
学長	北川博昭	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	三宅良彦	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	加藤智啓	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	大坪毅人	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	近藤浩志	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	鈴木宣男	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	小宮清	2020年4月1日～2023年3月31日
常勤理事	山本真士	2020年4月1日～2023年3月31日
非常勤理事	菊岡正和	2020年8月1日～2023年3月31日
監事	福嶋弘榮	2020年4月1日～2023年3月31日
監事	清水至	2020年4月1日～2023年3月31日

(2) 常勤理事構成

理事長 明石 勝也 他常勤理事 8名 (2021年3月31日現在)

(3) 評議員構成

評議員 明石 勝也 他評議員 29名
(任期：2020年4月1日～2023年3月31日)

(4) 顧問

特別顧問 1名 (任期：2020年4月1日～2023年3月31日)
顧問 4名 (任期：2020年4月1日～2023年3月31日)

(5) 理事会・評議員会・常任役員会の開催状況

理事会開催日

2020年 4月 1日 2020年 5月 25日 2021年 3月 29日

評議員会開催日

2020年 5月 25日 2021年 3月 29日

常任役員会開催日

2020年 4月 27日 2020年 5月 25日 2020年 6月 29日
2020年 7月 27日 2020年 8月 31日 2020年 9月 28日
2020年 10月 26日 2020年 11月 11日 2020年 11月 30日
2020年 12月 28日 2021年 1月 25日 2021年 2月 10日
2021年 2月 22日 2021年 3月 18日 2021年 3月 29日

5. 大学の主な役職者

役 職	氏 名	所 属
学 長	北 川 博 昭	外科学（小児外科）教授
医 学 部 長	加 藤 智 啓	生化学教授
研 究 科 長	遊 道 和 雄	難治性疾患病態制御学 大学院教授
大 学 病 院 長	大 坪 毅 人	外科学（消化器・一般外科）教授
東 横 病 院 長	宮 島 伸 宜	外科学（消化器・一般外科）診療教授
西 部 病 院 長	國 場 幸 均	外科学（消化器・一般外科）病院教授
多 摩 病 院 長	長 島 悟 郎	脳神経外科学 病院教授
ブレスト&イメージング 先端医療センター」 附属クリニック院長	福 田 護	外科学（乳腺・内分泌外科）特任教授

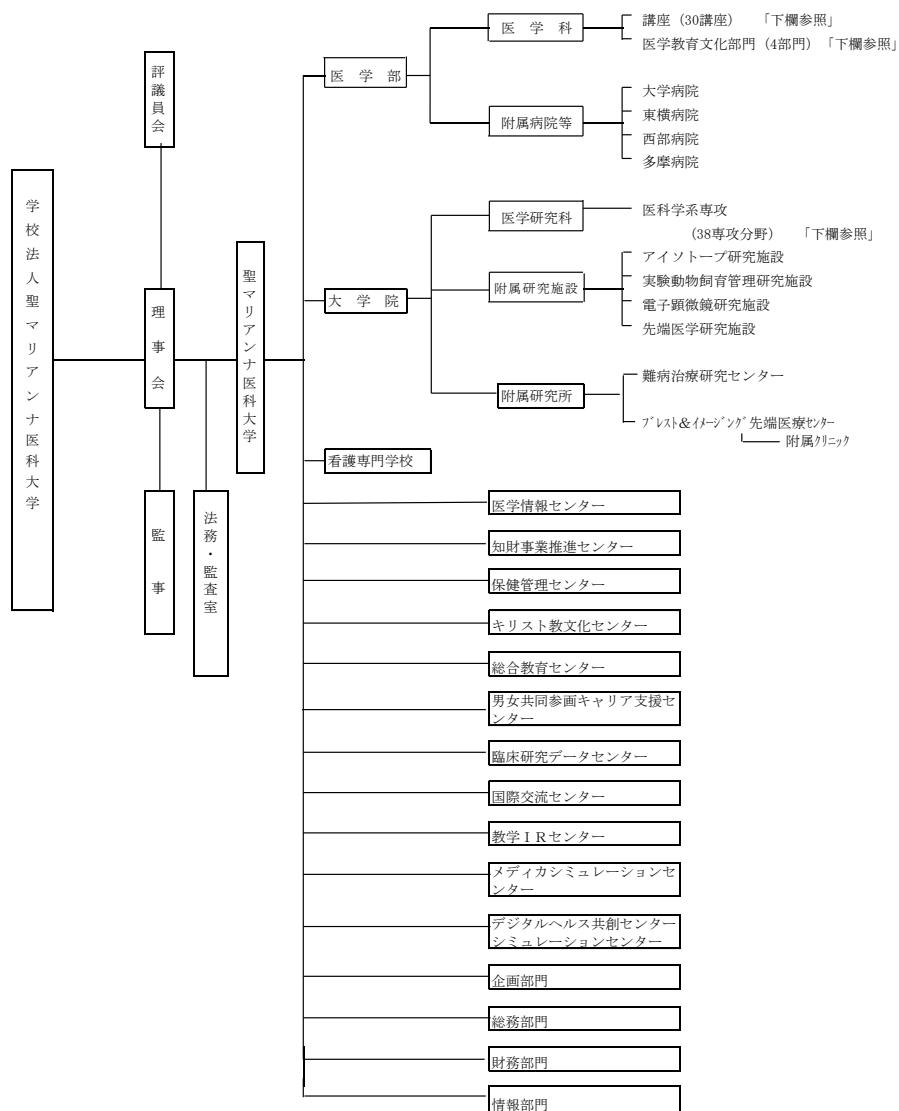
6. 教職員数 (2021年3月1日現在)

区 分		医学部	大学病院	東横病院	西部病院	多摩病院	グレスト&イ メージング 附属 クリニック	看護専 門学校	大学院	大学院 研究施 設研究 所	合 計
教員	学長	1									1
	教授※1	107	(62)	(9)	(15)	(7)			5	1	113
	准教授	77	(37)	(4)	(10)	(10)	(1)		3	4	84
	講師	132	(70)	(4)	(15)	(15)	(1)			6	138
	助教	576	(292)	(23)	(80)	(72)			2	2	580
	小計(1)	893	(461)	(40)	(120)	(104)	(2)		10	13	916
職員	その他医師		80		10	12	1				103
	看護師	12	1,156	141	473	382	9				2,173
	薬剤師		79	6	30	25	1				141
	臨床検査技師		101	19	30	23	4				177
	放射線技師		70	11	28	22	6				137
	O T ・ P T ・ S T		32	10	21	18					81
	医・診療技術員		72	5	26	19					122
	栄養士等		21	1	10	4					36
	事務員	200	171	29	73	62	6	4	1	1	547
	研究技術員	37								12	49
	教員							22			22
	その他	10	64	1	13	18					106
	小計(2)	259	1,846	223	714	585	27	26	1	13	3,694
合計(1)+(2)		1,152	1,846	223	714	585	27	26	11	26	4,610
その他(研修医)			84		12	20					116
総 計		1,152	1,930	223	726	605	27	26	11	26	4,726

看 護 師	看護師、保健師、助産師、准看護師
O T ・ P T ・ S T	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
医 ・ 診 療 技 術 員	臨床工学技士、視能訓練士、ソーシャルワーカー、臨床心理士
栄 養 士 等	管理栄養士、栄養士、調理師
事 務 員	事務、クラーク、秘書、司書、メディアコーディネーター
そ の 他	看護助手、保育士、医療技術助手、調理員、電話交換手、運転手、工務技術員、技能員、技術員

※1 教授＝特任教授を含む

7. 学校法人聖マリアンナ医科大学組織図



医学科30講座		
解剖学	内科学	腎泌尿器外科学
生理学	神経精神科学	産婦人科学
生化学	小児科学	眼科学
微生物学	外科学	耳鼻咽喉科学
薬理学	脳神経外科学	麻酔学
免疫学・病害動物学	整形外科	救急医学
病理学	形成外科学	臨床検査医学
予防医学	皮膚科学	スポーツ医学
法医学	放射線医学	臨床腫瘍学
感染症学	リハビリテーション医学	緩和医療学

医学教育文化部門4部門	
人文・社会科学	医学教育研究
医学情報学	語学系（英語）

医学研究科38専攻分野			
生体構造学	疾患プロトーム・分子病態治療学	臨床微生物・感染制御学	
臨床薬理学	病理病態学	再生医学・免疫病態医学	健康・環境制御医学
法医学	難治性疾患病態制御学	内科学	小児科学
神経精神科学	放射線医学	皮膚科学	腎泌尿器外科学
外科学	脳神経外科学	整形外科	産婦人科学
眼科学	耳鼻咽喉科学	麻酔学	形成外科学
救急医学	スポーツ医学	臨床検査医学	応用分子腫瘍学
臨床腫瘍学	感染症学	疾患バイオマーカー・標的分子制御学	分子神経科学
臨床再生組織工学	医療情報処理技術応用研究分野	生活習慣病プロフェッショナル養成コース	最新医学研究コース
高度臨床医育成コース	未来がん医療プロフェッショナル育成コース		

II. 事業の概要

1. 法人本部・教育・研究・診療活動

2020年度の法人本部・教育・研究・診療活動における主な改革・施策の状況は、次のとおりです。

法人本部

- ・ 創立 50 周年記念事業への具体的取り組み
- ・ 菅生キャンパスリニューアル事業の推進
- ・ ICT 利活用による様々な業務効率向上
- ・ 横断的・組織的な広報活動の更なる展開

医学部

- ・ 新カリキュラム体制下による臨床実習（第 12 クール）開始
- ・ 第 5 学年 RCM を開講
- ・ POST-CC OSCE 特例実施
- ・ COVID19 対策としてオンライン講義（ZOOM）を実施
- ・ 一般選抜（後期）導入
- ・ 朝鮮大学との学术交流協定を締結
- ・ NITTE 大学との学术交流協定を締結
- ・ ピッツバーグ大学との学术交流協定を締結
- ・ 東京純心大学ならびに昭和薬科大学と多職種連携セミナーを開講
- ・ 第 4・5 学年プログレステストを導入

大学院

- ・ 「がんプロフェッショナル養成プラン」における第Ⅲ期第 5 回および 6 回市民公開講座（WEB 版）を公開

大学病院

- ・ リハビリテーション科の設置
- ・ パーキンソン病治療センターの開設
- ・ 医療費後払いサービスの開始
- ・ 整形外科にて人工関節手術支援ロボット「ROSA Knee システム」の導入

東横病院

- ・ 脳血管内治療センターの開設
- ・ 消化管機能検査外来開始

西部病院

- ・ 脳卒中センターと感染制御室の新設
- ・ 総合相談部から機能を充実させた患者支援センターの本格始動
- ・ 西部病院ホームページリニューアル
- ・ 新型コロナウイルス感染症に対応する「帰国者・接触者外来」「発熱外来」設置

1. 法人本部・教育・研究・診療活動（2）

多摩病院

- ・ 血液内科の常勤医師配置により入院診療の開始
- ・ 新型コロナウイルス感染症患者の受入れ
- ・ 脳ドックの開始
- ・ 登録紹介医向け動画コンテンツの配信
- ・ 市民健康講座の動画コンテンツの配信

ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

- ・ 3D マンモグラフィーの増設
- ・ 定期的な患者様向け勉強会

看護専門学校

- ・ オンライン授業、対面授業併用開始
- ・ 第3回関係者評価実施
- ・ WEBでの成績・出欠席管理システム導入
- ・ 第5次カリキュラム改正に向けた取り組み開始

1-1 大学病院

開 院 年 月 日	1974年2月12日
許 可 病 床 数	1,175床 (稼動病床数 1,012床) [一般病棟 1,123床、精神病棟 52床]
患 者 数	入院延人数 281,407人 1日入院平均 771人 外来延人数 536,297人 1日外来平均 1,837人
診 療 科 等	総合診療内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、神経精神科、小児科、新生児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、腎泌尿器外科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、リハビリテーション科 (32診療科) 内科総合診療部、呼吸器病センター、ハートセンター、ハイブリッド心臓大動脈治療センター、脳卒中センター、腎臓病センター、糖尿病センター、リウマチ・膠原病生涯治療センター、肝疾患医療センター、総合周産期母子医療センター、こどもセンター、精神療法・ストレスケアセンター、認知症(老年精神疾患)治療研究センター、統合失調症治療センター、リハビリテーションセンター、腫瘍センター、緩和ケアセンター、生殖医療センター、感染症センター、てんかんセンター、救命救急センター、夜間急患センター、健康診断センター、ゲノム医療推進センター、パーキンソン病治療センター (25診療施設)

1-2 東横病院

開 設 年 月 日	1971年4月1日 (2008年6月16日リニューアルオープン)
許 可 病 床 数	138床 (稼動病床数 132床)
患 者 数	入院延人数 34,004人 1日入院平均 93人 外来延人数 78,503人 1日外来平均 291人
診 療 科 等	循環器内科、消化器内科、脳神経内科、消化器外科、心臓血管外科、脳神経外科、代謝・内分泌内科、婦人科、リウマチ内科・膠原病・アレルギー内科、腫瘍内科、放射線科、麻酔科、病理診断科 (13診療科) 消化器病センター、心臓病センター、脳神経・脳卒中センター(脳血管内治療センター含む)、失神センター、生活習慣病センター、救急集中治療部、健康診断センター(女性検診センターを含む) (7診療施設)

1-3 西部病院

開設年月日	1987年5月25日
許可病床数	518床（稼動病床数 450床）
患者数	入院延人数 80,568人 1日入院平均 221人 外来延人数 194,533人 1日外来平均 721人
診療科等	総合診療内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、消化器・肝臓内科、循環器内科、呼吸器内科、代謝・内分泌内科、脳神経内科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科（消化器外科、乳腺・内分泌外科）、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、病理診断科 （25診療科） 心臓血管センター、脳神経センター、救命救急センター（脳卒中センター）、周産期センター （4診療施設。ただし、脳神経センターは休止中）

1-4 多摩病院

開院年月日	2006年2月1日
許可病床数	376床（稼働病床数 376床）
患者数	入院延人数 85,797人 1日入院平均 234人 外来延人数 186,755人 1日外来平均 692人
診療科等	総合診療内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器・肝臓内科、腎臓・高血圧内科、代謝・内分泌内科、神経内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、アレルギー科、神経精神科、小児科、消化器・一般外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、乳腺・内分泌外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科、腫瘍内科 （31診療科） 救急災害医療センター、腎センター、内視鏡センター、健康診断部 （4診療施設）

1-5 プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

開院年月日	2009年3月2日
許可病床数	無床
外来患者数	外来延人数 34,968人 1日外来平均 130人
診療科等	乳腺外科、放射線科、腫瘍内科（乳腺疾患に特化した診療施設）

2. 入学試験状況

(1) 医学部

学校推薦型入学試験（地域枠含む）

第1次試験 2020年 11月 15日(日)

同合格発表 2020年 12月 1日(火)

一般入学試験（前期）

第1次試験 2021年 1月 25日(金)

同合格発表 2021年 1月 30日(土)

第2次試験 2021年 2月 6日(土)・7日(日)

同合格発表 2021年 2月 12日(金)

一般入学試験（後期）

第1次試験 2021年 3月 2日(火)

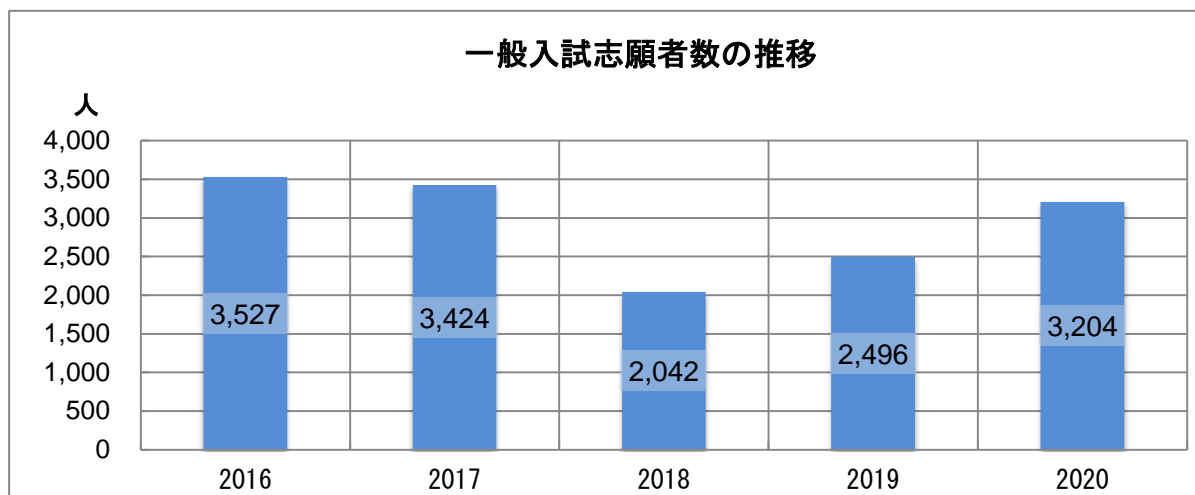
同合格発表 2021年 3月 8日(月)

第2次試験 2021年 3月 12日(金)

同合格発表 2021年 3月 19日(金)

区 分	募集人員	志願者数	入学者数
推 薦	約 35 名	162 (101)名	35 (21) 名
一 般 (前 期)	約 70 名	1,992 (834)名	70 (46) 名
一 般 (後 期)	約 10 名	1,212 (515)名	10 (6) 名
合 計	115 名	3,366(1,450)名	115 (73) 名

(括弧内数字は女子学生数)



(2) 大学院

第1次入学試験 2020年11月6日(金)

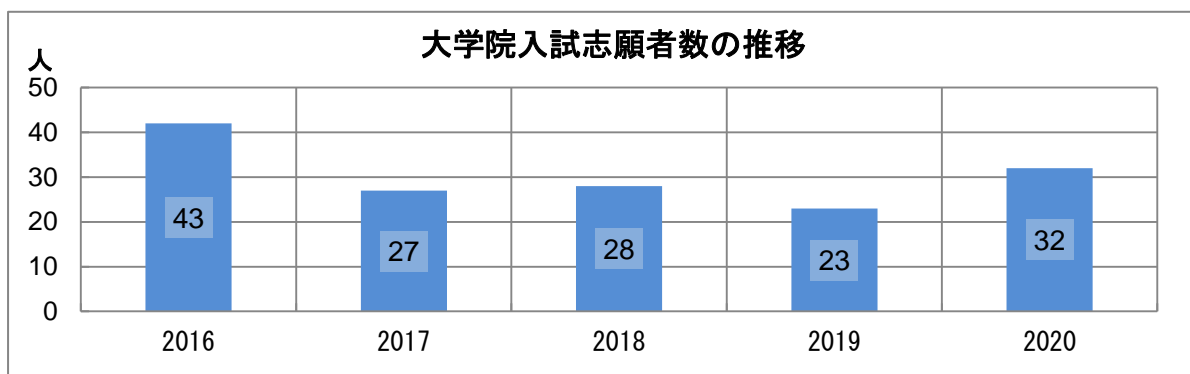
同合格発表 2020年12月3日(木)

第2次入学試験 2021年1月8日(金)

同合格発表 2021年2月4日(木)

専攻	募集人員	志願者数	入学者数
医科学系	60名	32(10)名	32(10)名

(括弧内数字は女子学生数)



(3) 看護専門学校

推薦入学試験 2020年10月31日(土)

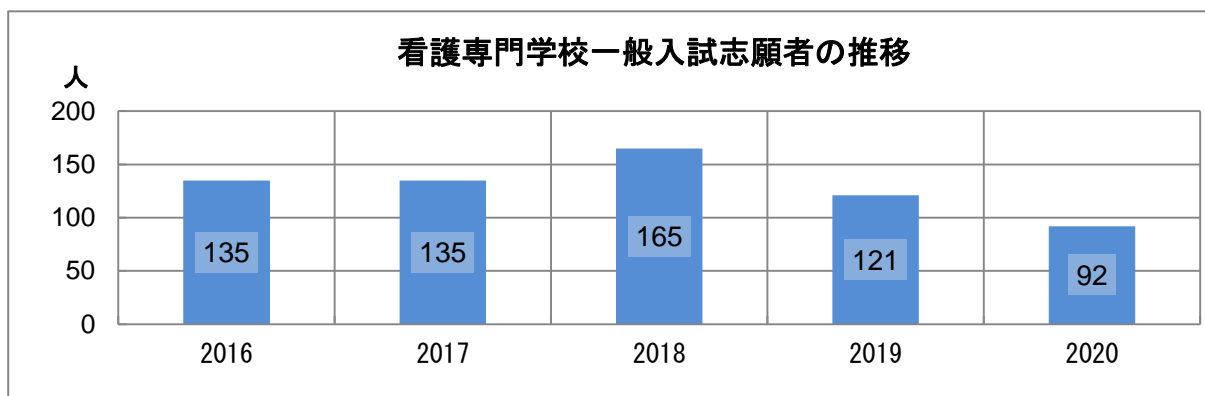
同合格発表 2020年11月4日(水)

一般入学試験 2021年1月6日(水)

同合格発表 2021年1月9日(土)

区分	募集人員	志願者数	入学者数
推薦		54(5)名	48(4)名
特別選抜		21(3)名	9(1)名
一般		92(13)名	28(4)名
合計	全体で80名	167(21)名	85(9)名

(括弧内数字は男子学生数)



3. 学生在籍者数

(1) 医学部

学 年	定 員	学生数
1 学 年	115 名	122 (74) 名
2 学 年	115 名	121 (66) 名
3 学 年	115 名	116 (52) 名
4 学 年	115 名	113 (45) 名
5 学 年	115 名	117 (41) 名
6 学 年	115 名	123 (53) 名
合 計	690 名	712 (331) 名

(括弧内数字は女子学生数)

(2) 大学院

学 年	定 員	合 計
1 学 年	60 名	23 (10) 名
2 学 年	60 名	27 (10) 名
3 学 年	60 名	27 (4) 名
4 学 年	60 名	39 (4) 名
合 計	240 名	116 (28) 名

(括弧内数字は女子学生数)

(3) 看護専門学校

学 年	定 員	学生数
1 学 年	80 名	87 (3) 名
2 学 年	80 名	87 (5) 名
3 学 年	80 名	86 (7) 名
合 計	240 名	260 (15) 名

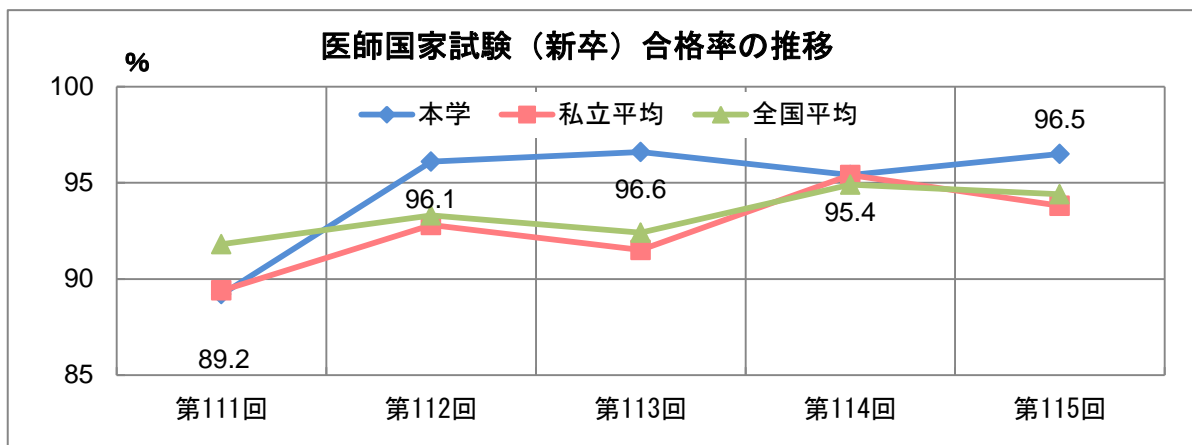
(括弧内数字は男子学生数)

4. 国家試験合格状況

(1) 第 115 回医師国家試験合格状況

第 115 回医師国家試験は、本学の合格者数は 115 名、合格率 95.8% で、全国平均および私立医科大学平均の合格率を上回る結果となりました。

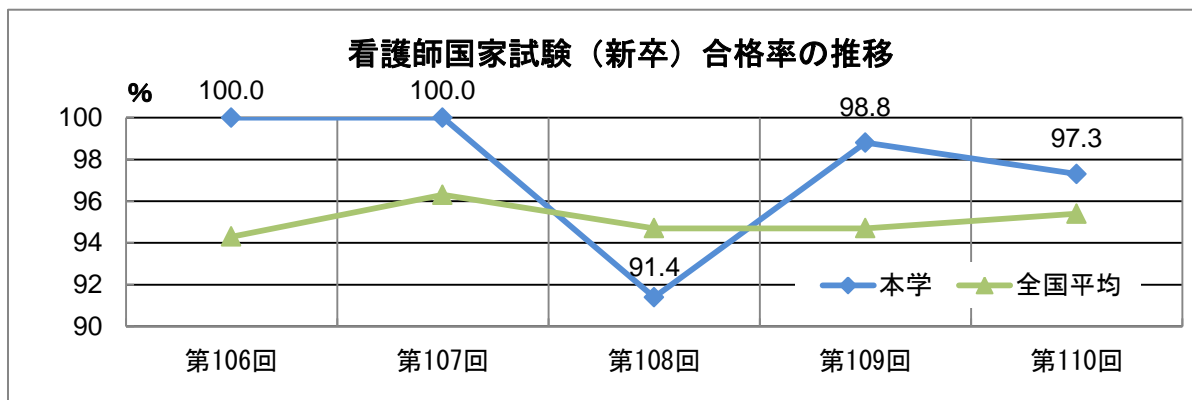
	新 卒	既 卒	全 体
受 験 者 数	115 名	5 名	120 名
合 格 者 数	111 名	4 名	115 名
本 学 合 格 率	96.5%	80.0%	95.8%
私立医科大学平均合格率	93.8%	54.2%	91.1%
全 国 平 均 合 格 率	94.4%	54.5%	91.4%



(2) 第110回看護師国家試験合格状況

第110回看護師国家試験の合格率は97.3%で、全国平均の合格率を上回る結果となりました。
 なお、合格者73名のうち70名が本学附属病院等に入職しました。

新 卒	
受 験 者 数	75名
合 格 者 数	73名
本 学 合 格 率	97.3%
全 国 平 均 合 格 率	95.4%



5. 博士(医学)の学位授与状況

課 程 修 了 に よ る も の	36件
論 文 提 出 に よ る も の	12件

6. 補助金交付状況

(1) 国庫補助金・地方公共団体補助金等交付状況

2020年度の国庫補助金・地方公共団体補助金等の交付状況は、次のとおりです。

部門	補助者	件数	交付金額
医学部	国庫補助金	2件	1,020,916千円
	川崎市	1件	
	私学事業団	1件	
大学病院	国庫補助金	10件	6,127,250千円
	神奈川県	11件	
	川崎市	8件	
	その他	1件	
東横病院	国庫補助金	1件	67,405千円
	神奈川県	5件	
	川崎市	5件	
西部病院	国庫補助金	5件	5,866,283千円
	神奈川県	9件	
	横浜市	8件	
	その他	1件	
多摩病院	国庫補助金	3件	4,858,778千円
	神奈川県	4件	
	川崎市	6件	
	その他	1件	
看護専門学校	神奈川県	2件	39,007千円
	川崎市	2件	
プレスト&イメージングセンター	神奈川県	1件	1,000千円
法人合計			17,980,639千円
内訳	国庫補助金(私学事業団含)		1,778,842千円
	地方公共団体補助金		16,143,867千円
	その他補助金		57,930千円

(2) 文部科学省科学研究費補助金申請・交付状況

2020年度科学研究費補助金は、次のとおり申請282件に対し新規採択が39件、継続採択が64件の合計103件に対し125,300千円が交付されました。なお申請件数に対する採択率は13.83%です。

研究種目	新規			継続	
	申請件数	件数	金額	件数	金額
新学術領域研究	2件	2件	3,600千円	0件	0千円
基盤研究(B)(一般)	8件	2件	10,300千円	4件	12,100千円
基盤研究(C)	167件	20件	23,800千円	45件	39,900千円
挑戦的研究(開拓)	1件	0件	0千円	0件	0千円
挑戦的研究(萌芽)	15件	0件	0千円	1件	2,600千円
若手研究	82件	14件	17,100千円	13件	13,700千円
研究活動スタート支援	4件	1件	1,100千円	1件	1,100千円
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A))	2件	0件	0千円	0件	0千円
学術変革領域研究(B)	1件	0件	0千円	0件	0千円
合計	282件	39件	55,900千円	64件	69,400千円

7. 主な施設・設備の更新等

2020年度における主な施設・設備の更新等は、次のとおりです。

◆ 大学・大学院

施設関係	難病治療研究センター貫流蒸気ボイラー等更新工事
	医学部本館自動火災報知設備更新工事
設備関係	個人情報データ連携（LDAP）サーバー式更新
	リアルタイムPCRシステム取得
	胸部診察トレーニングシミュレータ更新

◆ 大学病院

施設関係	病理科ホルムアルデヒド保管排気設備更新工事
	救急医学カンファレンスルーム可動間仕切り設置工事
設備関係	人工関節手術支援ロボット取得
	パルスホルミウム・ヤグレーザー取得
	キャピオックス経皮的心肺補助装置取得
	ドクターカー更新

◆ 東横病院

施設関係	COVID-19検査用簡易プレハブ設置工事
設備関係	乳房X線撮影装置更新
	手術用无影灯一式更新

◆ 西部病院

設備関係	人工関節手術支援ロボット取得
	メラ遠心血液ポンプシステム取得

◆ 多摩病院

設備関係	眼科手術顕微鏡更新
	フラットディティクター型ミニCアーム取得

◆ プレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

設備関係	乳房X線撮影装置取得
------	------------

◆ 看護専門学校

施設関係	屋上高架水槽更新工事
------	------------

Ⅲ. 財務の概要

1. 財務の概況

2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、大学ではオンライン授業や一般入試後期日程の追加実施などの対応を行いました。附属病院等では、緊急事態宣言などの発出による受診抑制や手術の延期などにより大幅な患者数減となり、医療収入が大きく減少しましたが、感染症患者受入れや感染症後外来の立ち上げなど積極的な対応に努めました。

経営状況の悪化に鑑み、法人全体で設備投資や経常経費の支出を抑制した一方、福祉医療機構から運転資金を借入れ、新型コロナ関連の寄付金や公的支援金等を頂いた結果、基本金組入前収支差額は当初予算 491 百万円（収益事業会計含む）、補正予算 7,697 百万円（同）の見込を上回る 8,765 百万円（同）となりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束は未だ見えず、今後も教育・研究・診療に大きな影響を与えることが予測されます。その一方で菅生キャンパスリニューアル事業の遂行は必須であり、アフターコロナに向けて、盤石な財政基盤を構築するための様々な施策が必要となっています。

2. 学校法人会計

(1) 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該年度内の教育研究診療活動で発生した全ての資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったかを明らかにするものです。

(収入の部)

(単位 百万円)

勘定科目	2020年度決算①	2020年度補正②	2019年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
学生生徒等納付金収入	4,311	4,310	4,299	1	12
寄付金収入	444	465	799	△ 21	△ 355
補助金収入	13,122	12,517	2,723	605	10,399
医療収入	54,286	54,106	58,557	180	△ 4,271
その他の収入	14,332	14,136	10,803	196	3,529
資金収入調整勘定	△ 13,413	△ 12,219	△ 9,193	△ 1,194	△ 4,220
当年度収入合計(A)	73,082	73,315	67,988	△ 233	5,094
借入金等収入(1)	9,600	9,600	13,600	0	△ 4,000
前年度繰越支払資金	8,407	8,407	9,709	0	△ 1,302
収入の部合計	91,089	91,322	91,297	△ 233	△ 208

(支出の部)

勘定科目	2020年度決算①	2020年度補正②	2019年度決算③	増減(①-②)	増減(①-③)
人件費支出	29,261	29,278	28,924	△ 17	337
教育研究経費支出	2,795	2,938	3,280	△ 143	△ 485
医療経費支出	30,757	30,575	31,124	182	△ 367
管理経費支出	2,075	2,132	2,428	△ 57	△ 353
施設・設備関係支出	7,305	6,973	9,972	332	△ 2,667
借入金等利息支出	69	74	44	△ 5	25
その他の支出	18,851	10,120	10,418	8,731	8,433
資金支出調整勘定	△ 11,906	△ 9,784	△ 9,423	△ 2,122	△ 2,483
当年度支出合計(B)	79,207	72,306	76,767	6,901	2,440
借入金等返済支出(2)	1,123	1,123	6,123	0	△ 5,000
次年度繰越支払資金	10,759	17,893	8,407	△ 7,134	2,352
支出の部合計	91,089	91,322	91,297	△ 233	△ 208
当年度資金差額(A)-(B)	△ 6,125	1,009	△ 8,779	△ 7,134	2,654
借入金差額(1)-(2)	8,477	8,477	7,477	0	1,000

(2) 活動区分資金収支計算書の概要

活動区分資金収支計算書は、企業会計のキャッシュフロー計算書に相当するもので、当該年度の法人の活動を①教育研究診療活動、②施設整備等の活動、③財務活動・収益事業活動等に区分し、活動ごとの資金の動きを収入・支出の両面から表した計算書です。法人の諸活動に伴い、どれだけのお金が、どこから入ってきてどこへ出て行ったのか、その結果、どれだけのお金が残ったのかを明らかにするものです。

単位(百万円)

●教育活動による資金収支		2020決算 ①	2020補正 ②	2019決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金収入	4,311	4,310	4,299	1	12
	寄付金収入	332	315	292	17	40
	経常費等補助金収入	12,061	10,992	2,666	1,069	9,395
	医療収入	54,286	54,106	58,557	180	▲4,271
	その他の収入	2,146	2,169	2,401	▲23	▲255
	収入合計(A)	73,136	71,892	68,215	1,244	4,921
支出	人件費支出	29,261	29,278	28,924	▲17	337
	教育研究経費支出	2,795	2,938	3,280	▲143	▲485
	医療経費支出	30,757	30,575	31,124	182	▲367
	管理経費支出	2,074	2,131	2,355	▲57	▲281
	支出合計(B)	64,887	64,922	65,683	▲35	▲796
	調整勘定等(C)	▲2,700	▲2,866	▲1,926	166	▲774
	資金差額(D=A-B+C)	5,549	4,104	606	1,445	4,943

2020年度は、**教育研究診療活動**により、**5,549百万円(D)**の資金差額を得ました。

機器備品の調達等、資本的支出を含む**施設整備等の活動**▲10,308百万円(H)をくわえた資金差額は▲4,759百万円(D+H)となります。

この二つの活動と借入金の返済を含む**財務活動等**7,111百万円(N)を合わせた資金差額**2,352百万円(Q)**が繰越資金の増加となるため、2021年度へは**10,759百万円(P)**の**支払資金**を繰り越すこととなります。(尚、この次年度繰越支払資金は、1か月分の運転資金にあたる年度末4号基本金4,552百万円を上回っています。)

●施設整備等活動による資金収支		2020決算 ①	2020補正 ②	2019決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	寄付金・補助金収入	1,173	1,675	564	▲502	609
	その他の収入	433	433	718	0	▲285
	収入合計(E)	1,606	2,108	1,282	▲502	324
支出	施設・設備関係支出	7,305	6,973	9,972	332	▲2,667
	その他の支出	5,745		12	5,745	5,733
	支出合計(F)	13,050	6,973	9,983	6,077	3,067
	調整勘定等(G)	1,136	414	▲209	722	1,345
	資金差額(H=E-F+G)	▲10,308	▲4,451	▲8,910	▲5,857	▲1,398
	資金差額小計(D+H)	▲4,759	▲347	▲8,304	▲4,412	3,545

●その他の活動による資金収支 ※財務活動、収益事業活動等		2020決算 ①	2020補正 ②	2019決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	借入金等収入(I)	9,600	9,600	13,600	0	▲4,000
	収益事業収入	1,258	990	0	268	1,258
	その他の収入	1,290	1,294	651	▲4	639
	収入合計(J)	12,148	11,884	14,251	264	▲2,103
支出	借入金等返済支出(K)	1,123	1,123	6,123	0	▲5,000
	借入金等利息支出	69	74	44	▲5	25
	その他の支出	3,845	854	1,082	2,991	2,763
	支出合計(L)	5,037	2,051	7,249	2,986	▲2,212
	調整勘定等(M)				0	0
	資金差額(N=J-L+M)	7,111	9,833	7,002	▲2,722	109

借入金等収入(I)のうち4,000百万円は期中運転資金借入(うち1,000百万円は借入年度内に返済し次年度繰越はありません)、5,600百万円はリニューアル事業計画に係る借入です。多摩病院の収益事業活動に伴う純利益2,442百万円から、前期繰越利益▲1,184百万円を差し引いた1,258百万円を学校会計へ繰入れています。

前年度繰越支払資金(O)	8,407	8,407	9,709	0	▲1,302
次年度繰越支払資金(P)	10,759	17,893	8,407	▲7,134	2,352
支払資金増減(Q=D+H+N=P-O)	2,352	9,486	▲1,302	▲7,134	3,654
内訳					
借入金差額(R=I-K)	8,477	8,477	7,477	0	1,000
当年度資金差額(S=Q-R)	▲6,125	1,009	▲8,779	▲7,134	2,654

借入金差額8,477百万円(R)を除いた当年度の資金差額は▲6,125百万円(S)となります。
※科目ごとに百万円未満四捨五入により必ずしも合計で一致しない

(3) 事業活動収支計算書の概要

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当するもので、当該年度の事業活動における収入と支出の内容および、その均衡状態を明らかにするものです。法人の事業活動を経常的な活動(①教育研究診療活動、②財務活動、収益事業活動)と③臨時的な活動に区分し、それぞれの収支を把握します。

「基本金組入前当年度収支差額」は、当該年度の短期的な収支バランス(いわゆる、黒字なのか、赤字なのか)を示しています。また、当該年度の基本金増減を加味した「翌年度繰越収支差額」は、長期的視点による収支バランスで、将来にわたり永続的な事業活動を維持するためには、収支均衡状態に近づくことが理想とされます。

単位(百万円)

●経常収支 (教育活動収支)		2020決算 ①	2020補正 ②	2019決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	学納金	4,311	4,310	4,299	1	12
	寄付金	335	319	295	16	40
	経常費等補助金	12,061	10,992	2,666	1,069	9,395
	医療収入	54,286	54,106	58,557	180	▲4,271
	その他の収入	2,146	2,169	2,401	▲23	▲255
収入合計(A)		73,139	71,896	68,218	1,243	4,921
支出	人件費	29,564	29,603	29,075	▲39	489
	教育研究経費	3,262	3,407	3,757	▲145	▲495
	医療経費	32,812	32,639	33,183	173	▲371
	管理経費	2,178	2,235	2,457	▲57	▲279
	その他の支出	17	8	15	9	2
	(減価償却額)	(2,519)	(2,513)	(2,544)	6	▲25
支出合計(B)		67,833	67,892	68,488	▲59	▲655
収支差額(C=A-B)		5,306	4,004	▲270	1,302	5,576

事業活動の本業にあたる教育活動(研究・診療活動を含む)では、前年度に比べ新型コロナ関連支援金(補助金)が増加、大学経常費等補助金、医療収入が減少し73,139百万円(A)を計上しました。

支出面では前年度より人件費が増加、教育研究経費等は減少し、教育活動収支差額は、前年度より5,576百万円増、補正後予算より1,302百万円増の5,306百万円(C)を計上しました。

●経常収支(教育活動外収支) ※財務活動収支、収益事業活動収支		2020決算 ①	2020補正 ②	2019決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	受取利息・配当金他	28	29	33	▲1	▲5
	収益事業収入	1,258	990		268	1,258
	収入合計(D)	1,286	1,019	33	267	1,253
支出	借入金等利息	69	74	44	▲5	25
	その他の支出				0	0
	支出合計(E)	69	74	44	▲5	25
収支差額(F=D-E)		1,217	945	▲11	272	1,228
経常収支差額(G=C+F)		6,523	4,949	▲281	1,574	6,804

また、財務活動による収入1,286百万円(D)に対し、借入金等利息69百万円(E)を支出したため、教育活動外収支差額は1,217百万円(F)、教育活動収支差額を合わせた経常収支差額は6,523百万円(G)となりました。

●特別収支 ※臨時的な活動収支		2020決算 ①	2020補正 ②	2019決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収入	資産売却差額	1	1	2	0	▲1
	寄付金・補助金収入	1,190	1,692	570	▲502	620
	その他の収入				0	0
	収入合計(H)	1,191	1,693	572	▲502	619
支出	資産処分差額	131	127	254	4	▲123
	その他の支出	2	2	73	0	▲71
	支出合計(I)	133	129	327	4	▲194
特別収支差額(J=H-I)		1,058	1,564	245	▲506	813

新型コロナ関連支援金(施設設備補助金)や、50周年記念事業募金や教育研究用機器備品等の資産処分差額などを合わせた臨時的な活動による特別収支差額は1,058百万円(J)です。

この結果、事業活動収支差額は、前年度を7,617百万円上回る7,581百万円(K)となりました。また、長期的収支均衡の指標となる翌年度繰越収支差額は▲55,368百万円(P)となっています。

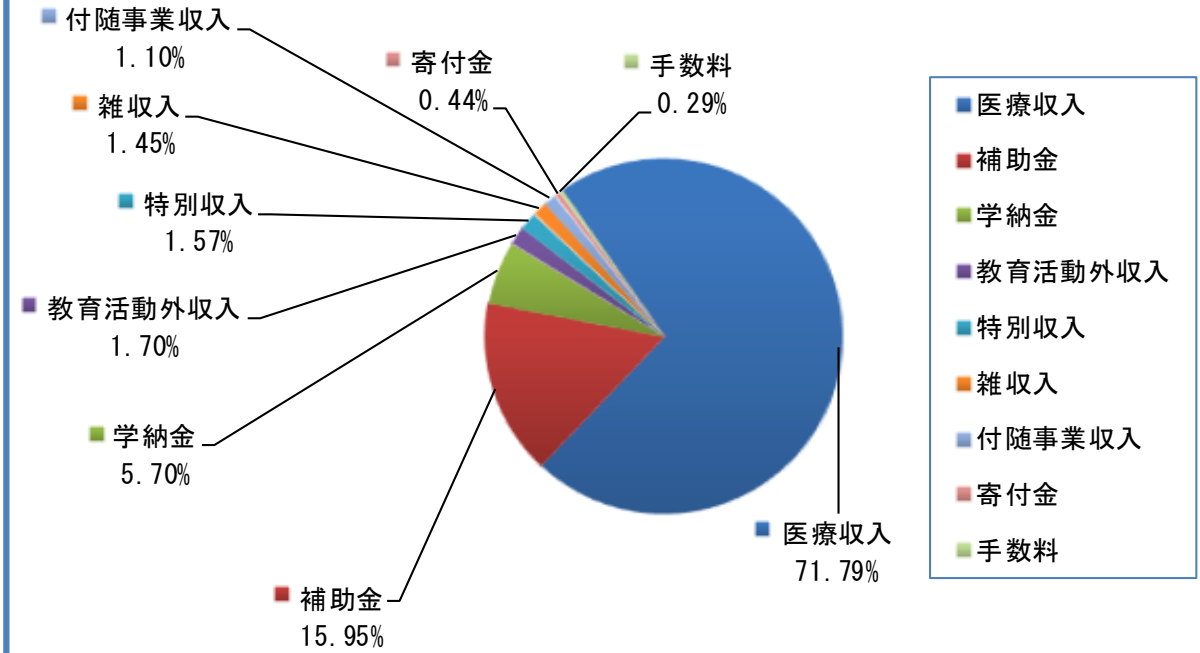
基本金組入前当年度収支差額(K=G+J-Q-R)	7,581	6,513	▲36	1,068	7,617
基本金組入額(L)	▲205	▲148	▲1,339	▲57	1,134
当年度収支差額(M=K+L)	7,376	6,365	▲1,375	1,011	8,751
前年度繰越収支差額(N)	▲64,792	▲64,792	▲63,539	0	▲1,253
基本金取崩額(O)	2,048	2,026	122	22	1,926
翌年度繰越収支差額(P=M+N+O)	▲55,368	▲56,401	▲64,792	1,033	9,424

(参考)

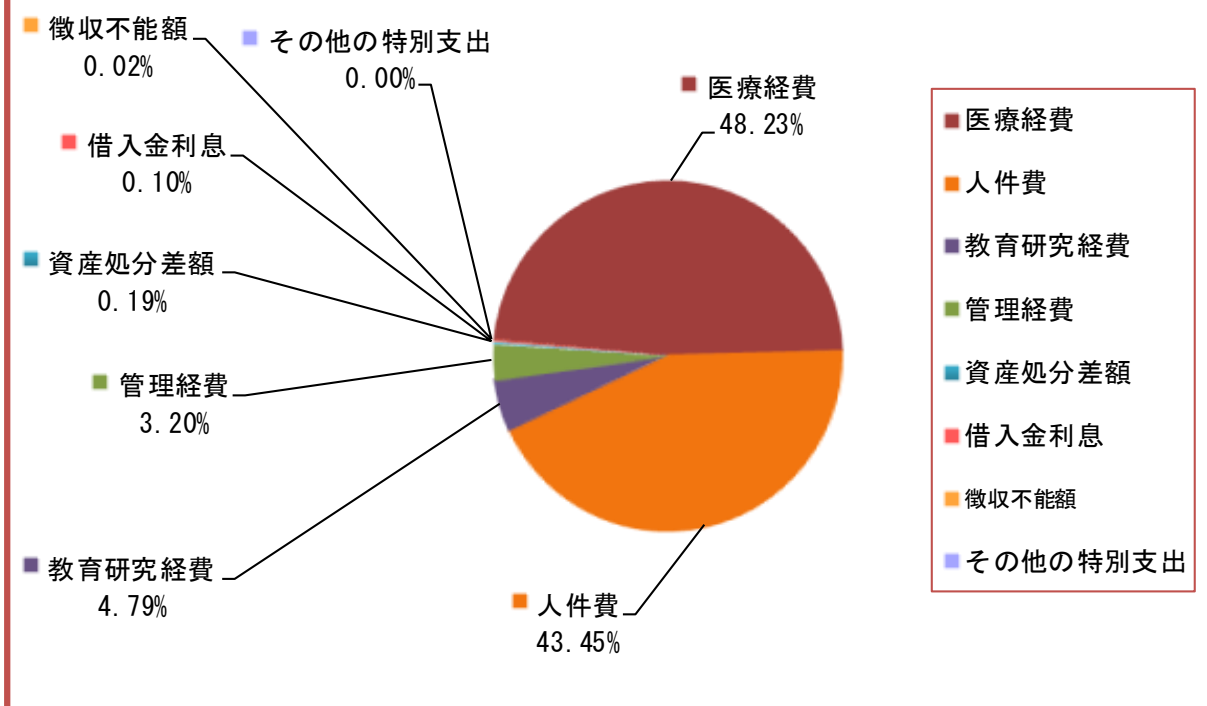
事業活動収入計(Q)	75,616	74,608	68,823	1,008	6,793
事業活動支出計(R)	68,035	68,095	68,859	▲60	▲824

尚、成長性の指標の一つである事業活動収入は前年度を6,793百万円上回り75,616百万円(Q)となりました。
※科目ごとに百万円未満四捨五入により必ずしも合計で一致しない

事業活動収入の構成



事業活動支出の構成



(4) 貸借対照表の概要

貸借対照表は、B/S(バランスシート)ともいわれ、年度末における法人の資産・負債・純資産の全てを表示し、法人の財政状態を表します。固定資産や流動資産といった財産の運用形態と、その調達源泉を示しています。負債は、将来返さなければならない他人のお金であり、純資産は、返す必要のない法人の自己資金にあたります。(事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額(従来の帰属収支差額)は、前年度末と当該年度末の自己資金の増減と一致します。)

単位(百万円)

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
固定資産	56,016	42,985	13,031	固定負債	28,688	20,397	8,291
有形固定資産	44,111	39,252	4,859	長期借入金	16,241	8,237	8,004
土地・建物・構築物	64,116	66,090	▲ 1,974	退職給与引当金	12,434	12,144	290
機器備品	22,294	21,208	1,086	その他の負債	13	16	▲ 3
その他の資産	15,571	10,184	5,387	流動負債	14,703	11,731	2,972
減価償却累計額	▲ 57,870	▲ 58,230	360	短期借入金	596	124	472
特定資産	9,286	973	8,313	未払金	12,303	9,796	2,507
その他の固定資産	2,619	2,760	▲ 141	その他の負債	1,804	1,811	▲ 7
有価証券	114	114	0	負債の部合計	43,391	32,128	11,263
収益事業元入金	111	111	0	基本金	93,094	94,937	▲ 1,843
その他の資産	2,394	2,535	▲ 141	1号基本金	88,035	89,878	▲ 1,843
				2号基本金	0	0	0
流動資産	25,101	19,288	5,813	3号基本金	507	507	0
現金・預金	10,759	8,407	2,352	4号基本金	4,552	4,552	0
その他の資産	14,342	10,881	3,461	繰越収支差額	▲ 55,368	▲ 64,792	9,424
				純資産の部合計	37,726	30,145	7,581
合計	81,117	62,273	18,844	合計	81,117	62,273	18,844

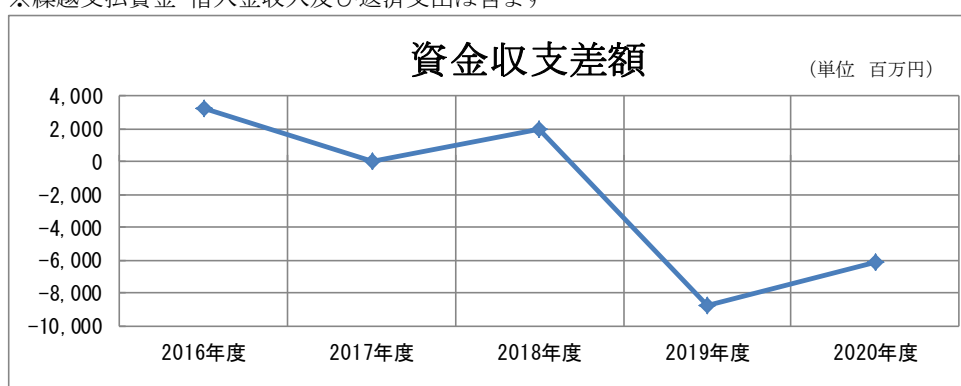
(5) 財務比率などの推移 [2013年度より多摩病院を収益事業会計として区分経理]

①資金収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
学納金	4,240	4,237	4,282	4,299	4,311
補助金	2,755	2,755	2,822	2,723	13,122
医療収入	53,332	55,081	56,303	58,557	54,286
その他	3,534	2,850	5,223	2,409	1,363
資金収入計	63,861	64,923	68,630	67,988	73,082
人件費	26,855	27,789	28,402	28,924	29,261
教育研究経費	2,755	2,982	2,924	3,280	2,795
医療経費	26,593	28,342	29,119	31,124	30,757
その他	4,381	5,797	6,219	13,439	16,394
資金支出計	60,584	64,910	66,664	76,767	79,207
資金収支差額	3,277	13	1,966	△ 8,779	△ 6,125

※繰越支払資金・借入金収入及び返済支出は含まず



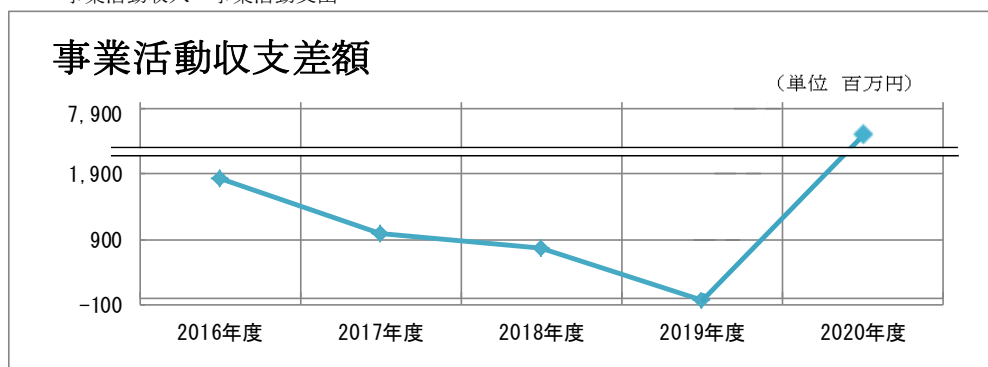
②事業活動収支差額推移表

(単位 百万円)

勘定科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
学納金	4,240	4,237	4,282	4,299	4,311
補助金	2,755	2,755	2,822	2,723	13,122
医療収入	53,332	55,081	56,303	58,557	54,286
その他	2,769	2,695	2,746	3,244	3,897
事業活動収入計	63,096	64,768	66,153	68,823	75,616
人件費	26,977	27,871	28,601	29,075	29,564
教育研究経費	3,233	3,437	3,390	3,757	3,262
医療経費	28,581	30,480	31,049	33,183	32,812
その他	2,473	1,998	2,339	2,844	2,397
事業活動支出計	61,264	63,786	65,379	68,859	68,035
事業活動収支差額	1,832	982	774	△ 36	7,581

※事業活動収支差額

= 事業活動収入 - 事業活動支出



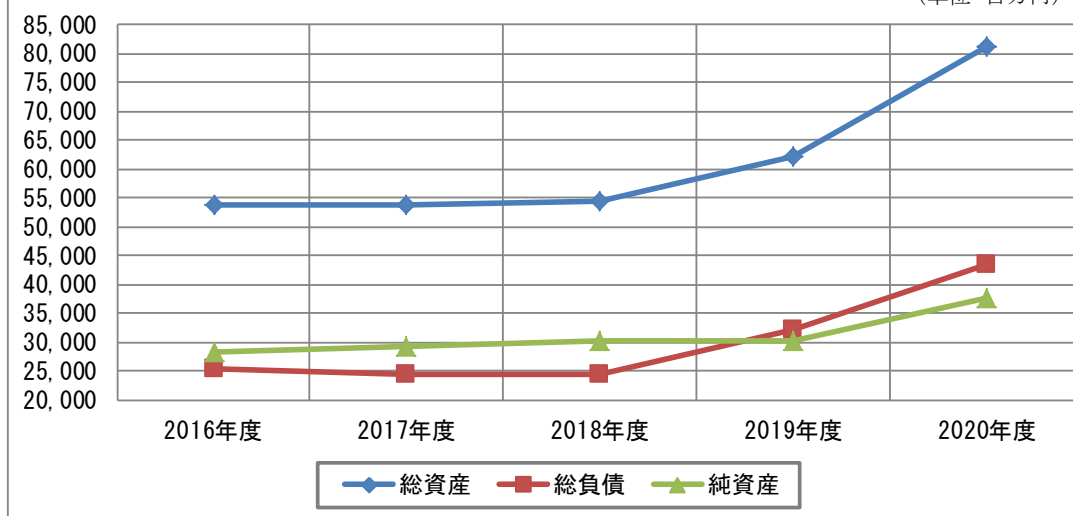
③財政状況表

(単位 百万円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
固定資産	36,707	36,319	36,459	42,985	56,016
流動資産	17,025	17,404	18,106	19,288	25,101
総資産	53,732	53,723	54,565	62,273	81,117
固定負債	12,783	12,656	12,743	20,397	28,688
流動負債	12,524	11,660	11,641	11,731	14,703
総負債	25,307	24,316	24,384	32,128	43,391
純資産	28,425	29,407	30,181	30,145	37,726

総資産、総負債及び自己資金

(単位 百万円)



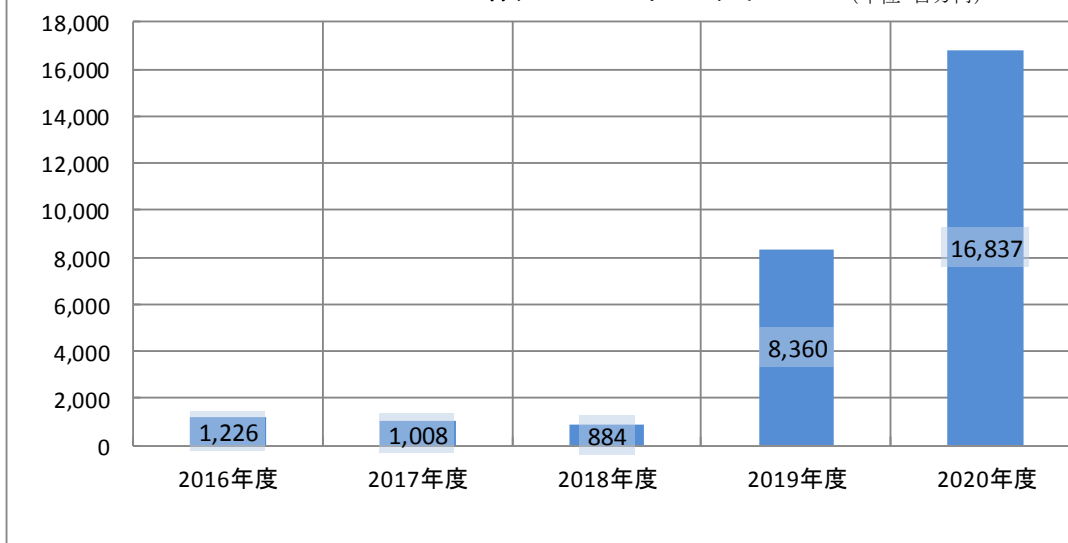
④借入金等残高推移表

(単位 百万円)

科目	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
借入金	1,226	1,008	884	8,360	16,837
学校債	0	0	0	0	0
合計	1,226	1,008	884	8,360	16,837

借入金等残高

(単位 百万円)



⑤財務比率一覧

2016年度からの計算書関連比率表

(1)貸借対照表関係比率

No.	比率名	算式	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	指標
1	固定資産構成比率	固定資産／総資産	68.3%	67.6%	66.8%	69.0%	69.1%	↑
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産／総資産	61.8%	61.3%	59.9%	63.0%	54.4%	↓
3	特定資産構成比率	特定資産／総資産	3.1%	3.1%	3.1%	1.6%	11.4%	↑
4	流動資産構成比率	流動資産／総資産	31.7%	32.4%	33.2%	31.0%	30.9%	↓
5	固定負債構成比率	固定負債／(総負債＋純資産)	23.8%	23.6%	23.4%	32.8%	35.4%	↓
6	流動負債構成比率	流動負債／(総負債＋純資産)	23.3%	21.7%	21.3%	18.8%	18.1%	↑
7	内部留保資産比率	(運用資産－総負債)／総資産	-28.6%	-27.1%	-23.4%	-36.3%	-28.6%	↑
8	運用資産余裕比率	(運用資産－外部負債)／経常支出	-4.7%	-2.9%	0.1%	-12.7%	-13.2%	↓
9	純資産構成比率	純資産／(総負債＋純資産)	52.9%	54.7%	55.3%	48.4%	46.5%	↓
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額／(総負債＋純資産)	-116.3%	-117.5%	-116.4%	-104.0%	-68.3%	↑
11	固定比率	固定資産／純資産	129.1%	123.5%	120.8%	142.6%	148.5%	↑
12	固定長期適合率	固定資産／(純資産＋固定負債)	89.1%	86.3%	84.9%	85.0%	84.3%	↓
13	流動比率	流動資産／流動負債	135.9%	149.3%	155.5%	164.4%	170.7%	↑
14	総負債比率	総負債／総資産	47.1%	45.3%	44.7%	51.6%	53.5%	↓
15	負債比率	総負債／純資産	89.0%	82.7%	80.8%	106.6%	115.0%	↓
16	前受金保有率	現金預金／前受金	928.0%	857.5%	1134.3%	935.7%	1236.9%	↑
17	退職給与引当特定資産保有率	退職給与引当特定資産／退職給与引当金	-	-	-	-	-	-
18	基本金比率	基本金／基本金要組入額	98.0%	99.6%	99.7%	92.9%	87.3%	↓
19	減価償却比率	減価償却累計額／減価償却資産取得価額	32.1%	31.2%	29.9%	29.3%	28.9%	↓
20	積立率	運用資産／要積立額	14.4%	13.8%	16.1%	13.0%	27.5%	↑

・運用資産＝現金預金＋特定資産＋有価証券

・要積立額＝減価償却累計額(ソフトウェア等含む)＋退職給与引当金＋2号基本金＋3号基本金

(2)事業活動収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	指標
1	人件費比率	人件費／経常収入	42.82%	43.11%	43.35%	42.60%	39.72%	↑
2	人件費依存率	人件費／学生生徒等納付金	636.25%	657.85%	667.89%	676.42%	685.83%	↓
3	教育研究経費比率	教育研究経費／経常収入	50.49%	52.47%	52.20%	54.12%	48.47%	↓
4	管理経費比率	管理経費／経常収入	2.97%	2.94%	3.32%	3.60%	2.93%	↑
5	借入金等利息比率	借入金等利息／経常収入	0.19%	0.06%	0.05%	0.06%	0.09%	↓
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額／事業活動収入	2.90%	1.52%	1.17%	-0.05%	10.03%	↑
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出／(事業活動収入－基本金組入額)	101.67%	101.05%	100.82%	102.04%	90.22%	↑
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金／経常収入	6.73%	6.55%	6.49%	6.30%	5.79%	↑
9	寄付金比率	寄付金／事業活動収入	0.74%	0.66%	0.69%	1.17%	0.61%	↓
10	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金／経常収入	0.71%	0.64%	0.55%	0.43%	0.45%	↑
11	補助金比率	補助金／事業活動収入	4.37%	4.25%	4.27%	3.96%	17.35%	↑
12	経常補助金比率	教育活動収支の補助金／経常収入	4.27%	4.09%	4.19%	3.91%	16.21%	↑
13	基本金組入率	基本金組入額／事業活動収入	4.50%	2.54%	1.97%	1.95%	0.27%	↑
14	減価償却額比率	減価償却額／経常支出	4.07%	4.01%	3.60%	3.71%	3.71%	～
15	経常収支差額比率	経常収支差額／経常収入	3.51%	1.40%	1.07%	-0.41%	8.76%	↑
16	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額／教育活動収入計	3.64%	1.38%	1.06%	-0.40%	7.25%	↑

(注) ・経常収入＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

・経常支出＝教育活動支出計＋教育活動外支出計

(3)活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率名	算式	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	指標
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額／教育活動資金収入計	7.76%	6.12%	7.91%	0.89%	7.59%	↑

(注)教育活動資金収支差額＝教育活動資金収入計－教育活動資金支出計＋教育活動調整勘定等

3. 収益事業会計（多摩病院）

(1) 貸借対照表

●貸借対照表

(資産の部)	本年度末	前年度末	増減	(負債および純資産の部)	本年度末	前年度末	増減
流動資産	3,093	2,505	588	流動負債	2,261	2,799	▲ 538
現金・預金	766	880	▲ 114	未払金他	2,261	2,799	▲ 538
未収入金	2,221	1,528	693	固定負債	1,916	1,863	53
その他	106	97	9	退職給与引当金	1,916	1,863	53
固定資産	1,195	1,084	111	負債の部合計	4,177	4,662	▲ 485
有形固定資産	1,171	1,892	▲ 721	純資産	111	▲ 1,073	1,184
減価償却累計額	▲ 1,006	▲ 829	▲ 177	元入金	111	111	0
その他	1,030	21	1,009	繰越利益剰余金	0	▲ 1,184	1,184
			0	純資産の部合計	111	▲ 1,073	1,184
合 計	4,288	3,589	699	合 計	4,288	3,589	699

(2) 損益計算書

●損益計算書

		2020決算 ①	2020補正 ②	2019決算 ③	差異 (①-②)	差異 (①-③)
収 益	医 療 収 入	8,261	8,260	9,609	1	▲ 1,348
	補 助 金	4,859	4,658	684	201	4,175
	そ の 他	177	172	166	5	11
	小 計	13,297	13,090	10,459	207	2,838
費 用	医 療 経 費	3,843	3,982	3,982	▲ 139	▲ 139
	人 件 費	5,407	5,352	5,248	55	159
	(医 師)	(1,181)	(1,157)	(1,120)	(24)	(61)
	負 担 金	717	717	693	0	24
	そ の 他	2,146	864	1,227	1,282	919
	小 計	12,113	10,915	11,150	1,198	963
当期純利益		1,184	2,175	▲ 691	▲ 991	1,875

川崎市立多摩病院における診療活動は、収益事業として、学校会計から経理を区分しています。医師の person 費が100%計上される収益事業会計の当期純利益は2,442百万円から学校法人への繰入支出1,258百万円を差引いた1,184百万円となります。前期繰越利益(赤字)が解消され、期末純資産は111百万円となります。

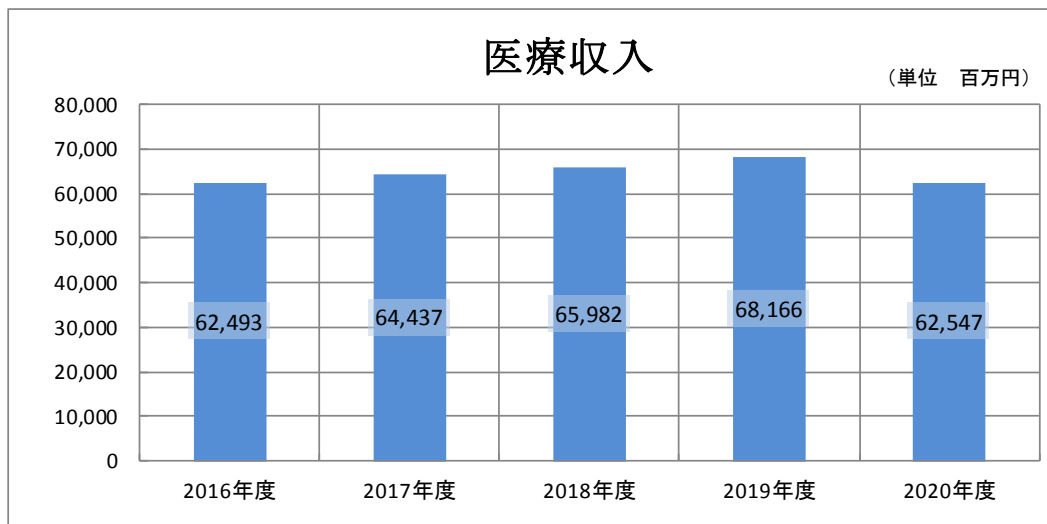
4. 附属病院等の状況

(1) 医療収入推移表

(単位 百万円)

部 門	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大 学 病 院	34,289	35,405	36,691	38,446	37,326
東 横 病 院	3,607	3,782	3,460	3,786	3,585
西 部 病 院	14,528	15,019	15,293	15,191	12,226
B&I先端医療センター 附 属 クリ ニ ッ ク	908	875	859	1,134	1,149
多 摩 病 院	9,161	9,356	9,679	9,609	8,261
※ 合 計	62,493	64,437	65,982	68,166	62,547

※医療収入合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療収入額とは一致しません

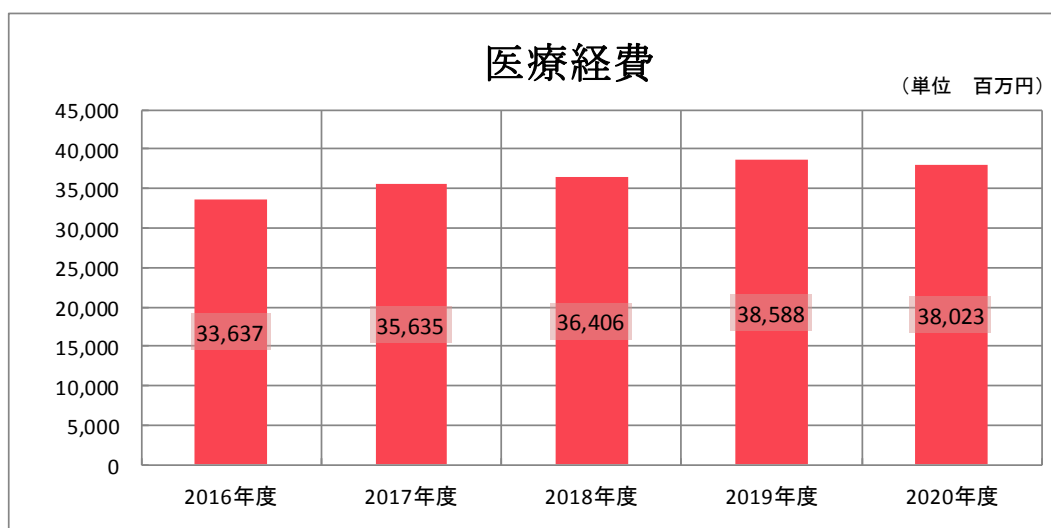


(2) 医療経費推移表

(単位 百万円)

部 門	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大 学 病 院	17,197	18,455	19,353	20,550	20,841
東 横 病 院	2,089	2,176	1,955	2,105	1,927
西 部 病 院	8,575	9,149	9,081	9,631	9,139
B&I先端医療センター 附 属 クリ ニ ッ ク	720	700	659	897	905
多 摩 病 院	5,056	5,155	5,358	5,405	5,211
※ 合 計	33,637	35,635	36,406	38,588	38,023

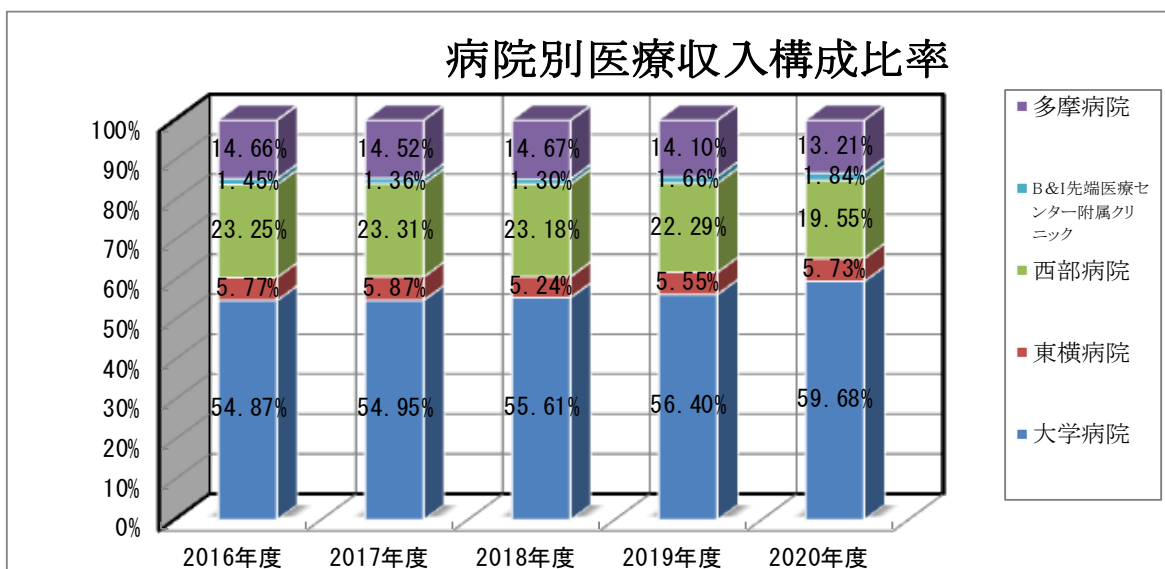
※医療経費合計額は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費額とは一致しません



(3) 病院別医療収入構成比率推移表

部門	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大学病院	54.87%	54.95%	55.61%	56.40%	59.68%
東横病院	5.77%	5.87%	5.24%	5.55%	5.73%
西部病院	23.25%	23.31%	23.18%	22.29%	19.55%
B&I先端医療センター附属クリニック	1.45%	1.36%	1.30%	1.66%	1.84%
多摩病院	14.66%	14.52%	14.67%	14.10%	13.21%
※合計	100%	100%	100%	100%	100%

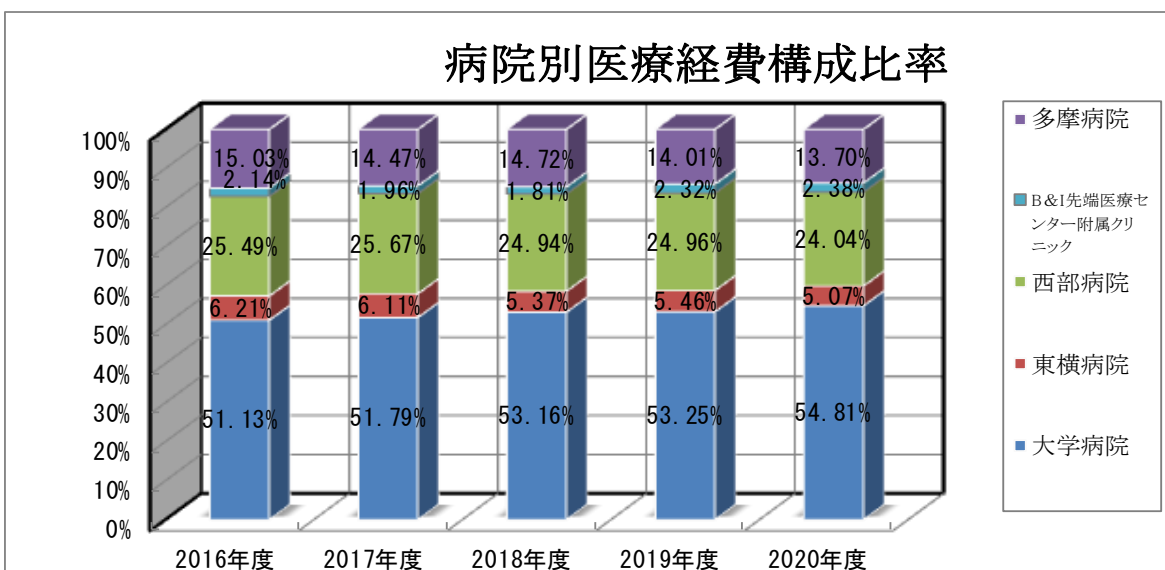
※医療収入構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため資金収支計算書及び事業活動収支計算書の医療収入構成比率とは一致しません



(4) 病院別医療経費構成比率推移表

部門	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大学病院	51.13%	51.79%	53.16%	53.25%	54.81%
東横病院	6.21%	6.11%	5.37%	5.46%	5.07%
西部病院	25.49%	25.67%	24.94%	24.96%	24.04%
B&I先端医療センター附属クリニック	2.14%	1.96%	1.81%	2.32%	2.38%
多摩病院	15.03%	14.47%	14.72%	14.01%	13.70%
※合計	100%	100%	100%	100%	100%

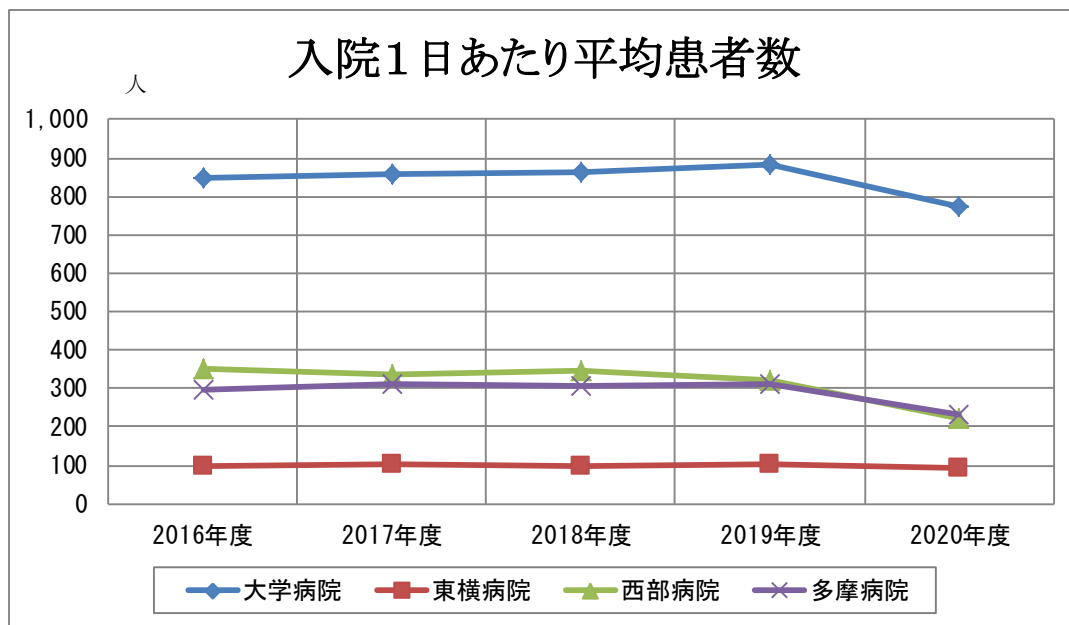
※医療経費構成比率は収益事業会計(多摩病院)を含めているため事業活動収支計算書の医療経費構成比率とは一致しません



(5) 病院別入院1日あたり平均患者数

(単位 人)

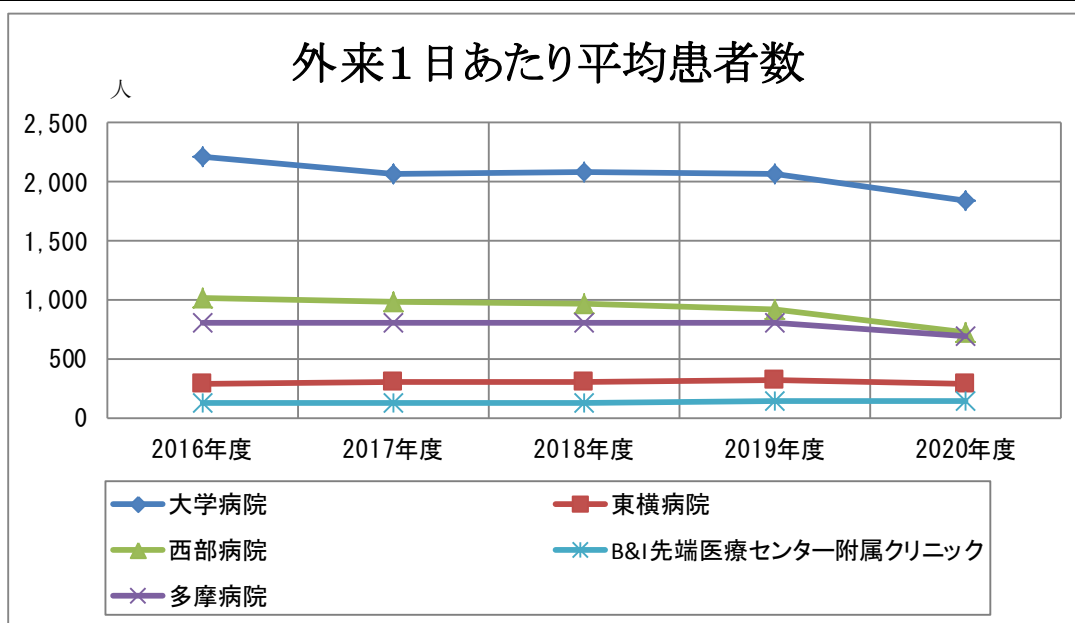
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大学病院	847	856	865	882	771
東横病院	100	105	97	103	93
西部病院	352	338	344	323	221
多摩病院	297	312	308	312	234



(6) 病院別外来1日平均患者数

(単位 人)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
大学病院	2,209	2,061	2,079	2,065	1,837
東横病院	285	298	296	310	291
西部病院	1,009	979	963	922	721
B&I先端医療センター附属クリニック	130	128	128	134	134
多摩病院	806	804	808	804	692



所在地

学校法人 聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学病院

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学東横病院

〒 211-0063 川崎市中原区小杉町 3-435

TEL 044-722-2121(代)

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒 241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL 045-366-1111(代)

川崎市立多摩病院（指定管理者病院）

〒 214-8525 川崎市多摩区宿河原 1-30-37

TEL 044-933-8111(代)

聖マリアンナ医科大学看護専門学校

〒 216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1

TEL 044-977-8111(代)

聖マリアンナ医科大学附属研究所 ブレスト&イメージング先端医療センター附属クリニック

〒 215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-2 3階・4階

TEL 044-969-7720(代)

ホームページ <https://www.marianna-u.ac.jp/>